

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



澤 紀男

議員

選挙区 米子市
会派 公明党

キャッシュレス化の推進について

問 2020年のオリンピック・パラリンピックに向け、外国人旅行者への対策として政府はキャッシュレス化を進めようとしている。一番進んでいるのは、韓国の89%、中国が60%、米国が45%、日本は18%という統計調査がある。鳥取県のインバウンド対策としてのキャッシュレス化の推進について知事に伺う。

答 観光の環境づくりとして、キャッシュレス化やバーコード等の新しい技術を使つての金融決済のやり方など当初予算等での対応も含め進めていく。



島谷 龍司

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

布勢を障がい者スポーツの聖地へ

問 布勢総合運動公園での障がい者スポーツの拠点整備に合わせて、積極的な合宿誘致などにより聖地化を図るべきでは。

答 日本パラ陸上が開催され、ソフト、ハード両面にわたって鳥取市が障がい者スポーツに理解があると受けとめられている。最近布勢を拠点に吉岡温泉を活用した合宿も行われており、パラリンピックでのジャマイカチームの合宿も決まるなど、こうした合宿を受け入れながら国内外のスポーツ、パラスポーツの拠点になればと考えている。

9月定例会では、25人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

会派正式名称

- 【自由民主党】 鳥取県議会自由民主党
- 【会派自民党】 会派自民党
- 【会派民主】 会派民主
- 【公明党】 公明党鳥取県議会議員団
- 【希望^{のぞみ}】 鳥取県議会会派希望^{のぞみ}
- 【共産党】 日本共産党鳥取県議会議員団



坂野経三郎

議員

選挙区 鳥取市
会派 会派民主

ICT遠隔授業 国際バカロレア(※)

問 ①遠隔授業を可能とするロボットOriHimeは非常に効果が高い。日本財団の支援が終了する来年度以降も継続すべき

②平成元年の時価総額世界トップ50社中、日本企業は32社。現在は世界43位のトヨタ1社。詰込み型の教育から、課題解決能力を高める教育に、より重点を置くべき。国際競争力を高めるバカロレア教育が必要だ。

答 (教育長) ①国へ支援要望すると共に来年度予算にて検討する②ハードルは高いが、取り組みについては随分と参考になる。



松田 正

議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

淀江産業廃棄物最終処分場について

問 地元淀江の状況を鑑みると、建設への道筋をつけてしまうということは絶対にあってはならないと思う。知事は任期中に決着をつけられる考えなのか。

答 今は情報交換、意見調整、コミュニケーションという手続であり、仮にこれが終わったとしてもその後廃掃法の手続がある。任期中に物理的に終わるかといえばそれは終わらないであろうということが常識的な相場観かと思う。決して期限を限って急いで物事を進めればよいとは私自身も考えてはいない。



福田 俊史

議員

選挙区 八頭郡
会派 会派自民党

公立小中学校への冷房設置について

問 県内公立学校の冷房設置率の調査結果を見ると県立高校は100%だが小中学校では24%と全国平均50%を大きく下回っている。鳥取県の将来を担う大切な子どもたちの命を守るため冷房設置を支援すべきではないか。

答 小中学校の施設整備は市町村の役割。国の助成制度もスタートするのでリサーチし適切に対応したい。国の対策と市町村の熱意で、この課題は解消へ向かうのではないかと期待している。今後もしっかりフォローしていきたいと思っている。

※国際バカロレア・・・国際的な視野を持った人材の育成を目的に、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問



興治 英夫

議員

選挙区 倉吉市
会派 会派民主

倉吉市、小川家の保存活用を

問 倉吉市河原町にある県指定文化財小川家住宅及び庭園は、ご当主が逝去の上、地震で被災したため、全面的な保存活用が見通せない状況。文化財としての価値、活用の可能性、被災後の現状についての所見を。

答 非常に価値あるもの。保存活用に向けたこれまでの努力を評価したい。大切なのはもう一度体制を作ること。小川家と話をされ、公開に向けて倉吉市としてどう実現するのか、考え方ははっきりさせることが必要。県は応分の協力を申し上げる。



福浜 隆宏

議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

①②子育て③洋上風力④ジオパーク

問 ①国の社会的養育ビジョンでは里親委託率75%目標で非現実的。県方針は？②虐待防止で“地域の聴き役”作りを③洋上風力の先進地を調査研究し漁業者・経済界に情報提供を④SDGs(※)達成を目指すユネスコ方針に習い、観光地だけでなく伝統産業を中心とした世界発信を。

答 ①数字だけを目標にせず子どもの立場で考える②“とっとり子育て隊”を地域の相談相手とする役割を検討したい③調査研究し情報提供する④大いに共鳴。新展開の基軸のひとつに。



藤井 一博

議員

選挙区 東伯郡
会派 会派自民党

医師確保について 災害対策について

問 ①医師の働き方改革について本県の取り組みは②医師偏在への対策は③災害時の福祉避難所の開設、運営が円滑に行われるよう対策はとっているか。

答 ①これまで女性医師の復帰プログラムなど先鞭をつけてきた。県医師会に様々な各種啓発プログラムなどを委託しながら共同で取り組んでいく②圏域別の医師充足数を参考にしながら、医師派遣について大学と交渉をするなど対応する③福祉避難所の立ち上げといった実働訓練の実施なども考えていく。



錦織 陽子

議員

選挙区 米子市
会派 共産党

島根原発3号機、 子どもの虫歯対策

問 ①国が中電の島根原発3号機の新規制基準適合性審査の書類の不備を指摘。県は見過ごした。中電に撤回を求めよ②子どものむし歯の未処置の実態、予防と対策③フッ化物洗口の検討推進を。

答 ①中電の申請に対して答えを出す必要があった。認めたのではなく留保とした。国の審査を注視する②むし歯該当者の半数以上が未治療。モデル的に市町村単位で対策検討会開催予定③保育所は半数超(教育長)小中学校は2町で実施。歯科保健推進計画や関係機関の連携等で協議する。



濱辺 義孝

議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

避難所の安全防犯 対策等体制整備を

問 公明党100万人訪問・調査運動アンケートで、避難所における安全・防犯対策、災害時要援護者の把握、連携が必要とする回答が多くあった。特に、高齢者や子ども、女性、障がい者、外国人等、安心して避難できる体制整備について知事に問う。

答 総合して、市町村と研究調査をして、避難所の体制整備等の課題が見えた。今年に入り、課題に対する対策として県の避難所マニュアルを改正した。市町村の方にも見ていただきながら順次展開して行くことになる。



中島 規夫

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

鳥取県・鳥取市 政策連携懇談会

問 県・鳥取市政策連携懇談会の議題①鳥取西道路周辺活性化②中核市にふさわしい鳥取駅周辺整備について、所見を伺う。

答 トップレベルでも胸襟を開いて意思疎通を図り、課題を動かしていく。鳥取西道路開通に伴う観光活性化と地域興し、鳥取駅周辺の課題解決に向けて協議会を設置。①(教育長) 日本人類学会のDNA研究を契機に青谷上寺地遺跡を日本中世界中に情報発信したい。②(警察本部長) 鳥取駅周辺の賑わい創出に賛同。関係機関と前向きに検討したい。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問



西川 憲雄

議員

選挙区 八頭郡
会派 自由民主党

7月豪雨災害からの復旧の取り組み

問 ①支え愛マップ作りに避難訓練も取り入れては②作業道の復旧支援を期間延長は③災害復旧にあたり工法を含む長寿命化の取り組みは出来ないか。

答 ①避難訓練などもステップアップ事業として交付対象に考えていきたい②県の単独の制度なので本当は31年度終了だが31年度事業開始で会計的にもクリアできる③台風や豪雨の頻発を受け、やり方をシステムチックに変え、水に対するかわり方や災害の対応の仕方を変えていく必要がある。



川部 洋

議員

選挙区 倉吉市
会派 希望(のぞみ)

人口減少時代の労働力不足対策

問 労働力不足が進むと高齢者・女性・外国人雇用では足りず、ICT・AI・ロボットの導入により省力化・生産性の向上を進めることが行政を含め、あらゆる分野で必要ではないか。

答 鳥取県では経済成長創造戦略の中で第4次産業革命を中心課題に入れており、労働力不足を補うためにもIoT、ロボット化の推進を図っていきたい。また、行政分野での、ロボットによる業務の自動化は非常に面白いチャレンジになると思うので積極的に導入を図りたい。



横山 隆義

議員

選挙区 東伯郡
会派 希望(のぞみ)

医療福祉人材確保 高齢者の口腔ケア

問 ①県内の医療福祉分野で働く人をどう確保していくのか②高齢者の誤えん性肺炎予防には口腔ケアが重要だが、介護報酬改定によりデイサービス施設などの歯科診療が医療保険も介護保険も対象外。県独自のスキームで支援をしては。

答 ①奨学金制度等により増えてきているが、AIやロボット導入などいろんな工夫が始まっている②現時点では支援には至っていないが重要なことであり、市町村、医療機関などを通じて定期的な口腔健診を働きかける。



野坂 道明

議員

選挙区 米子市
会派 自由民主党

防災対策と県土の強靱化について

問 ①直ちに避難行動を取らない理由に正常性バイアス(※)の影響が指摘されている。今後の避難行動のあり方に警鐘を鳴らしていると思うが②頻発する自然災害をふまえ強靱化の観点からも十分な維持管理費の確保が重要だと思うが。

答 ①非常に重要な指摘であり災害の危険度を認識・共有し、日頃の話し合いや訓練も必要で、取組を強化したい②新たな財源措置として公共施設の適正化債がありこのような有利な制度を入れていくのも手だと思う。



長谷川 稔

議員

選挙区 倉吉市
会派 無所属

島根原発3号機適合性審査申請

問 島根原発3号機の新規制基準適合性審査申請に対し、県の判断はなぜ審査結果後なのか。2号機申請で用いる基準地震動等を3号機申請に転用すべきではない。また、立地自治体同様の安全協定締結を求めるべき。

答 安全協定に基づき、申請をされれば県は答えを出す必要がある中で、判断を留保としたもの。中国電力には、なぜ申請を急ぐのかと伝え、事業者の対応が最終判断に影響する旨も回答。立地自治体同様の安全協定締結は文書で申入れ済み。



藤縄 喜和

議員

選挙区 鳥取市
会派 会派自民党

美術館市と協議をネーミングライツ

問 ①県立美術館建設で放置された重要な課題を解決するため、鳥取市と協議を始めるべき②布勢運動公園の自動販売機がすべてコカ・コーラ社になった理由は。

答 ①鳥取市には様々なご迷惑をかけていることを自覚している。長年の課題に道筋をつけるべき。真摯に誠意を持って話し合いたい。②ネーミングライツ企業に一定の配慮をした。ただ、県産業振興条例の趣旨を踏まえ、県内同業者の受注機会確保を検討する。

※正常性バイアス・・・心理学用語で、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、過小評価したりしてしまう人の特性のこと。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会



一般質問



市谷 知子

議員

選挙区 鳥取市
会派 共産党

災害対策、小中学校エアコン設置

問 ①河川の土砂等除去予算が要望の2割。抜本的増額を②青谷の台風24号浸水被害に直接補填を③被災住宅支援は被災1件から④千代川洪水時の避難体制確立⑤防災無線戸別受信機設置⑥小中学校エアコン設置支援。

答 ①必要に応じ予算を措置②青谷こども学園は速やかに復旧支援。企業には経営革新制度等寄り添って支援③しない④県有施設の利用調整など早期確立を支援⑤倉吉除く全戸配布方針ない3市は設置検討を⑥10月下旬の国方針踏まえ県対応を考える。



浜田 一哉

議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

就業支援の取組みについて

問 産業人材育成センターの職業訓練生の情報を県立ハローワークと共有すべきではないか。

答 人材センターと県立ハローワークとのブリッジも重要で、地域や商工団体、企業との連携についても一層強化する。

問 高校卒業時に県立ハローワークに登録してもらい、県内企業の情報を提供するなど、教育委員会との部局横断的な取組みを検討すべきではないか。

答 登録を進めていく。(教育長) 学校現場、関係機関、知事部局と連携し対応していく。



銀杏 泰利

議員

選挙区 鳥取市
会派 公明党

観光振興、地どり豪雨洪水対策を

問 ①ポケモンイベント開催②鳥取地どりは③⑦杉崎浸水問題、洗井川対策④旧砂田川とJR橋梁の一体的整備⑤殿ダム放流で中河原集落へ放送届かず。

答 ①閑散期にポケモンを活用したイベントを調整している②新しい経営体の可能性も出てきた。まとめれば援助する③⑦大路川治水懇談会に津ノ井地区の参加を市に提案する。洗井川浸水対策は市が主体だが、県も技術的助言を行う④下流の整備終了を勘案して着手する⑤3時間前に前倒しなど改善を求める。



浜崎 晋一

議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

関係人口の視点による地域づくり

問 関係人口が生み出す力を地域に引き込むため、地域課題と社会貢献したいと考える都市の若者とをマッチングする窓口として「関係案内所」を設置することが必要ではないか。

答 世の中の中のトレンドが変わり、20代、30代の若者の居場所探しが地方に向かい始めている。東京や大阪、更には県内にも関係をつなぐスポットがあってもよいと思う。新年度に向けて関係案内所というコンセプトをどのように形にしていけるのか、検討させていただきたい。



浜田 妙子

議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

ロービジョン(*)ケア 産後ケア 他1件

問 ①ロービジョンへの総合支援のため、早期の拠点病院設置と当事者参加の協議会が必要②0歳児虐待や産後うつ自殺の社会問題に対し、妊婦への確実な情報提供と相談事業のスキルアップを③独立した犯罪被害者支援条例の検討が必要。

答 ①拠点病院は鳥大側に必要な働きかけをしたい。関係者が入り、まずはワーキング会議をさせて頂く②市町村と協議し周知徹底を図り、スキルアップの充実強化を図る③関係者と相談させて頂きたい。



内田 隆嗣

議員

選挙区 米子市
会派 会派自民党

白ネギ産業の持続可能性について

問 白ネギの共同選果場で処理能力を超えた時、処理しきれないものが腐り廃棄されるため、保冷庫を設置してほしい。また、黒腐菌核病対策として新薬も補助対象としてほしいという声が上がっている。白ネギ産業が将来的に持続的であるために、この問題を解消できないか。

答 保冷庫についてはロスの出ないように、代替策も含めてよくご相談したい。病害対策の新薬については、農水省が解禁を下せば導入する方向で考えていきたい。

*ロービジョン・・・視機能が弱く矯正もできないが全盲ではない視覚障害。従来は、弱視、低視力、見えにくい人と呼ばれた。

議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

鳥取県議会

検索

一般質問

【お詫びして訂正します】

平成30年6月定例会号6ページ 藤縄喜和議員の一般質問中、答①の「2023年」は誤りで、正しくは「2033年」でした。お詫びして訂正します。

答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部局長の答弁も含む）。教育長、警察本部長は知事の部局ではないため別に表記した。



前田八寿彦 議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

県出資法人等の活性化のために

問 昨年11月議会で、県出資法人の人事の固定化の防止について質問し、知事から一定のルールを考えたいとの答弁があった。ルールづくりはどうされたのか。人事の固定化は改善されたのか。知事の所見を伺う。

答 今議会中にガイドラインを提示したい。具体的には雇用年齢の目安と報酬の目安を示したいと考えている。人事の固定化の改善状況については、65歳を超えた県職員OBがこの1年で6名退任され、若手への切り替えが行われているところ。



森 雅幹 議員

選挙区 米子市
会派 会派民主

常勤講師の処遇改善について

問 講師不足が議論されている。講師は担任を持ち教諭と全く同じ仕事をしながら、何年しても給与は23万円弱。その上、人件費抑制のため意図的に任用の空白期間を設け処遇を悪くしている。まさに講師はブラック中のブラック。国はH26年にこの空白期間の問題の是正通知を出している。処遇を改善すべきと考えるが所見を求める。

答（教育長） 講師の任用の案内の年内への前倒しや、空白期間の問題について国の通知の趣旨に則り関係機関と協議したい。

お知らせ

県議会を傍聴しませんか

県議会の審議は公開されており、どなたでも本会議、委員会などの会議を傍聴できます。

暮らしに直結する審議が、どのように進められているのか、直接見てみませんか。議会日程をご確認のうえ、県議会においでください。

ネットでもご覧になれます

本会議、常任委員会、全員協議会はインターネット (<https://www.pref.tottori.lg.jp/gikai/>) で生中継と録画中継をしています。本会議はケーブルテレビでも放送しています。

※ご不明な点はお気軽に県議会事務局総務課 (☎0857-26-7460) へお問い合わせください。

11月定例会の日程案

期 日	日 程
11月28日(水)	本 会 議(開会・提案理由説明)
29日(木)	常任委員会
30日(金)	本 会 議(代表質問)
12月 4日(火)	本 会 議(一般質問・質疑)
5日(水)	
7日(金)	
10日(月)	
12日(水)	
13日(木)	常任委員会
17日(月)	
18日(火)	特別委員会
19日(水)	本 会 議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。

みなさまへ

「とっとり県議会だより」は、6名の議員で構成された広報委員会で編集作業を行っております。少しでもわかりやすく県議会の動きをお伝え出来ればと考えております。さて、鳥取県議会では15年後2033年開催の2巡目国体招致の決議を行いました。1985年の「わかとり国体」以来の国体となります。今から楽しみです。(広報委員会 M)